

「接待づけ」疑惑噴出



衆院予算委に出席する(右から)総務省の谷脇康彦、総務審議官吉田真人、総務審議官秋本芳徳、前情報流通行政局長、湯本博信、前大臣官房審議官

氏名	役職	回数	金額	内訳(円)		
				飲食	土産	タクシー
山田真貴子 内閣広報官 74,203円 (1回)	会食時の肩書					
	総務審議官	あり	19.11.6	参加	懇談	74,203
谷脇康彦 総務審議官 118,439円 (4回)	総務審議官	あり	20.10.7	参加	意見交換	47,151
		なし	19.10.23	参加	懇親会	21,901
	総合通信基盤局長	なし	19.6.6	参加	懇親会	11,127
吉田真人 総務審議官 65,661円 (5回)		なし	18.10.9	参加	懇親会	24,292
	総務審議官	あり	20.12.8	参加	懇親会	25,300
	情報流通行政局長	あり	20.1.24	参加	新年会	5,427
	大臣官房総括審議官	あり	17.10.18	参加	懇親会	9,350
	大臣官房審議官	あり	16.12.14	参加	忘年会	12,250
秋本芳徳 前情報流通行政局長 (大臣官房付) 103,276円 (7回)		あり	16.8.8	参加	暑気払い	5,980
	情報流通行政局長	あり	20.12.10	参加	懇親会	19,984
		あり	20.7.30	参加	暑気払い	16,998
	総合通信基盤局電気通信事業部長	なし	19.2.14	参加	新年会	5,616
	総合通信基盤局総務課長	なし	18.11.29	参加	忘年会	6,210
		なし	17.5.26	参加	懇親会	23,750
湯本博信 前大臣官房審議官 (大臣官房付) 29,014円 (3回)		なし	16.11.28	参加	忘年会	14,634
	大臣官房審議官	あり	16.7.20	参加	懇親会	7,704
	情報流通行政局長	あり	20.12.14	参加	忘年会	8,744
	情報流通行政局長	なし	19.11.27	参加	忘年会	13,054
	情報流通行政局長	なし	19.2.14	参加	新年会	5,616

「長男の長男が関係者として公務員の方が倫理法に違反する行為をすることになった」と、父の立場として陳謝した。委員会では、総務省の調べに長男は当初、会食で企業の利権に関する会話をしたかとの問いに「通常の意見交換」と答えたが、週刊誌が音声データを公表すると、「改めてよく当時の記憶を思い返したところ、B、C、Sなど放送業界全体の事情に関する話はあった」と説明を交えたことも明らかにした。

それでも首相は、あくまで長男は「別人格」であると強調し続けた。

ただ、首相は、東北新社の創業者と「20年近い付き合い(首相)の間柄。長男が総務省幹部と知り合ったのも、首相が総務相時に大臣秘書官に起用してからだ。問題は首相がきっかけ

22日昼過ぎ、総務省内では、調査を担当する同省の武藤真郷・秘書課長が1時間14分にわたり、調査結果を報道陣に説明した。判明した計39回の会食目的は「懇親会」「忘年会」「暑気払い」など。一部には「情報交換」や「意見交換」も含まれる。東北新社で衛星放送子会社の社長を兼務する執行役員が、幹事役として幹部らを酒席に誘っていたこともわかった。

武藤氏によると、接待された職員全員が「相手が利害関係者と思わなかった」と主張。会食時の会話については「衛星事業一般の話や子会社の話題が出た」とはあり得る」としつつ、「利害を誘導するやりとりはなかった」と口をそろえているという。

「長年放送を担当し、気をつけて調べれば気づいたかもしれないが、まことに怠



衆院予算委で、総務省幹部が接待を受けていた問題について頭を下げる菅義偉首相。いずれも22日、恵原弘太郎撮影

「長男の問題」距離置く首相 抜擢の内閣広報官1回で7.4万円

「首相が黙認しているから行っても大丈夫」という疑みにつながったのではないかと、首相に原因がある。22日の衆院予算委員会、元総務官僚で立憲民主党の奥野総一郎氏は、総務省幹部らが首相の長男の存在ゆえに接待を受けた可能性を指摘。首相の問題であると追及した。

首相は「私の長男が関係して、結果として公務員の方が倫理法に違反する行為をすることになった」と、父の立場として陳謝した。委員会では、総務省の調べに長男は当初、会食で企業の利権に関する会話をしたかとの問いに「通常の意見交換」と答えたが、週刊誌が音声データを公表すると、「改めてよく当時の記憶を思い返したところ、B、C、Sなど放送業界全体の事情に関する話はあった」と説明を交えたことも明らかにした。

奥野氏は、政治経験のなかった長男を大臣秘書官に抜擢したことを「『自助』とはちょっと遠い。酒を助けたという面はあるので」と指摘。総務省と利害関係のある会社への就職も「政治家として止めなきゃいけない」と問題視した。首相は「就職が決まった後から報告を受けた。任せていた」として、長男の問題と距離を置いた。

ところが、この日の総務省の調査結果では、長男に加えて、新たな菅政権への打撃が明らかになった。長男らによる接待リストに山田真貴子・内閣広報官が含まれていた。しかも、山田氏が接待された費用

は、ひとり7万4千円と突出して高かった。立憲の本多平直氏は「何を食べるかという金額になるのか」と追及。首相は「詳細は承知していない」と述べた。本多氏が「金額が常軌を逸している。推測をする、高いワインを飲んだんじゃないか」と迫ると、首相は「詳細について聞いてみる」と受け入れざるを得なかった。

山田氏は、安倍政権で女性初の首相秘書官に就き、総務省でも要職を歴任。昨年9月に菅政権ができるまで、首相は、首相記者会見で司会を務める内閣広報官に抜擢された。

同省関係者によると、政権の目玉政策である携帯値下げやNHK受信料値下げを担う谷脇康彦・総務審議官らと並び、首相は総務省時代から山田氏を評価していたという。

山田氏はすでに総務省を退官しており、同省の処分対象外だが、加藤勝信官房長官は22日の会見で「関係者の処分を踏まえ当然対応する」と述べ、山田氏を処分する可能性に触れた。立憲の枝野幸男代表はこの日の党員会で、旧大蔵省の接待汚職を念頭に「20年30年時代に戻ってしまった」という状況だと批判。自民党からもさすがに広報官を続けるのは無理だ(関係経歴者)との声が出ている。(相原亮・小林愛)

口そろえ「利害誘導なかった」

東北新社は傘下に総務省の認定を受ける衛星放送子会社3社を抱え、菅首相の長男が1社の役員を務め、残りの2社の社長や役員も接待に参加していた。近年、衛星放送業界は多

慢は恥じるばかりだ。22日午後の衆院予算委員会で、この問題で初めて出席した吉田真人・総務審議官がそう述べ、利害関係者と思わなかったと釈明した。だが、新たに接待が判明した幹部には、衛星放送業界を担当する衛星・地域放送課長やその元課長も含まれる。すでに更迭された秋本芳徳・前情報流通行政局長と湯本博信・前同局官房審議官も、担当の局長・官房審議官で、総務省内にさえ利害関係者と思わな

ったという主張は白々しいとの声がくすぶる。むしろ調査から浮かぶのが、総務省が許認可権を持ち、適切な距離を保つべき放送事業者からの接待が常態化していた実態だ。

東北新社は傘下に総務省の認定を受ける衛星放送子会社3社を抱え、菅首相の長男が1社の役員を務め、残りの2社の社長や役員も接待に参加していた。近年、衛星放送業界は多

慢は恥じるばかりだ。22日午後の衆院予算委員会で、この問題で初めて出席した吉田真人・総務審議官がそう述べ、利害関係者と思わなかったと釈明した。だが、新たに接待が判明した幹部には、衛星放送業界を担当する衛星・地域放送課長やその元課長も含まれる。すでに更迭された秋本芳徳・前情報流通行政局長と湯本博信・前同局官房審議官も、担当の局長・官房審議官で、総務省内にさえ利害関係者と思わな

慢は恥じるばかりだ。22日午後の衆院予算委員会で、この問題で初めて出席した吉田真人・総務審議官がそう述べ、利害関係者と思わなかったと釈明した。だが、新たに接待が判明した幹部には、衛星放送業界を担当する衛星・地域放送課長やその元課長も含まれる。すでに更迭された秋本芳徳・前情報流通行政局長と湯本博信・前同局官房審議官も、担当の局長・官房審議官で、総務省内にさえ利害関係者と思わな

慢は恥じるばかりだ。22日午後の衆院予算委員会で、この問題で初めて出席した吉田真人・総務審議官がそう述べ、利害関係者と思わなかったと釈明した。だが、新たに接待が判明した幹部には、衛星放送業界を担当する衛星・地域放送課長やその元課長も含まれる。すでに更迭された秋本芳徳・前情報流通行政局長と湯本博信・前同局官房審議官も、担当の局長・官房審議官で、総務省内にさえ利害関係者と思わな

菅義偉首相の長男が勤める放送関連会社「東北新社」による総務省幹部らへの接待は、延べ39回も繰り返されていた。「接待づけ」とも言える実態に、同社との不透明な関係を疑う声は高まるばかりだ。接待の対象は、首相自身が起用した同省出身の山田真貴子・内閣広報官にも広がり、野党側は追及を強めている。

▼1面参照



総務省幹部ら「利害関係者と思わず」

減を総務省の有識者会議で要望していたことも判明。18年開始の4K放送の一部では、参入から5年間は衛星料金が免除されるが、再来年以降は料金が大幅に上がる恐れがあるためだ。

総務省の会議は昨年、料金を減の取り組みが進められるべきだとする報告書案をとりまとめた。22日の衆院予算委で報告書案について問われた谷脇康彦・総務審議官は「詳細は承知していない」と繰り返した。武田良太総務相も「行政が決められた事実は確認されていない」と接待の影響を否定したが、野党は「関係者からの聞き取りだけで本当はわかっている。立憲民主党の大串博志氏」と追及を続ける構えだ。(豊岡亮・藤田知也)

減を総務省の有識者会議で要望していたことも判明。18年開始の4K放送の一部では、参入から5年間は衛星料金が免除されるが、再来年以降は料金が大幅に上がる恐れがあるためだ。

総務省の会議は昨年、料金を減の取り組みが進められるべきだとする報告書案をとりまとめた。22日の衆院予算委で報告書案について問われた谷脇康彦・総務審議官は「詳細は承知していない」と繰り返した。武田良太総務相も「行政が決められた事実は確認されていない」と接待の影響を否定したが、野党は「関係者からの聞き取りだけで本当はわかっている。立憲民主党の大串博志氏」と追及を続ける構えだ。(豊岡亮・藤田知也)

減を総務省の有識者会議で要望していたことも判明。18年開始の4K放送の一部では、参入から5年間は衛星料金が免除されるが、再来年以降は料金が大幅に上がる恐れがあるためだ。

総務省の会議は昨年、料金を減の取り組みが進められるべきだとする報告書案をとりまとめた。22日の衆院予算委で報告書案について問われた谷脇康彦・総務審議官は「詳細は承知していない」と繰り返した。武田良太総務相も「行政が決められた事実は確認されていない」と接待の影響を否定したが、野党は「関係者からの聞き取りだけで本当はわかっている。立憲民主党の大串博志氏」と追及を続ける構えだ。(豊岡亮・藤田知也)

減を総務省の有識者会議で要望していたことも判明。18年開始の4K放送の一部では、参入から5年間は衛星料金が免除されるが、再来年以降は料金が大幅に上がる恐れがあるためだ。

総務省の会議は昨年、料金を減の取り組みが進められるべきだとする報告書案をとりまとめた。22日の衆院予算委で報告書案について問われた谷脇康彦・総務審議官は「詳細は承知していない」と繰り返した。武田良太総務相も「行政が決められた事実は確認されていない」と接待の影響を否定したが、野党は「関係者からの聞き取りだけで本当はわかっている。立憲民主党の大串博志氏」と追及を続ける構えだ。(豊岡亮・藤田知也)